



2023年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ
 コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>
 代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役CFO (氏名) 北川 智哉 (TEL) 03-6214-3600
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	20,547	61.0	6,802	355.3	6,376	421.3	4,804	—	2,213	105.7	6,661	162.8
2022年12月期第3四半期	12,761	33.8	1,494	△23.8	1,223	△22.0	324	△62.9	1,076	△16.8	2,535	31.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	46.61	46.13
2022年12月期第3四半期	22.67	22.46

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	48,468	26,586	24,220	50.0	509.84
2022年12月期	33,906	19,810	20,969	61.8	441.59

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,267	50.8	7,280	428.3	6,430	737.4	4,351	—	2,005	415.7	42.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	47,514,843株	2022年12月期	47,487,843株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	9,226株	2022年12月期	1,391株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	47,487,233株	2022年12月期3Q	47,469,747株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1-(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 研究開発活動	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
要約四半期連結損益計算書	8
要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(作成の基礎)	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績・財政状態に関する分析

（1）経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向がみられました。一方、地政学的リスクの長期化、世界的な物価・金利上昇などを背景に、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。バイオテクノロジー・セクターにおきましても同様に、全世界的に先行き不透明感を完全に払しょくするまでには至っておりません。

このような状況下におきましても、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）及びその関連会社（以下合わせて「当社グループ」）は、主要事業におきまして前年同期比で売上収益の増加を達成しました。

特に、当社グループ主要子会社である北京コンチネント薬業有限公司（以下「北京コンチネント」）の主力製品であるアイスーリュイの販売が堅調に推移し、売上収益の増加に大きく寄与しました。同社は、次期製品の有力な候補であるF351の第Ⅲ相臨床試験を中国にて進めており、当該試験は2023年内の被験者登録完了を目前に控え着実に進捗しております。

また、2022年12月に開示いたしました米国Nasdaq上場企業のCatalyst Biosciences, Inc.（以下「CBIO」）との取引に関しては、F351の中国以外の権利を譲渡する取引1を完了している現在、当社グループが保有する北京コンチネント株式をCBIOに現物出資し、その対価としてCBIO株式を当社グループが受領する取引2の完了に向け、鋭意進めております。2023年8月29日開催のCBIO株主総会では、関連議題の全てが承認されております。

米国及び中国を中心に研究開発に特化している米国子会社Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）は、独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォームuSMITE™（ubiquitin-mediated, small molecule induced target elimination）を活用した創薬に引き続き邁進しております。2023年6月に開示いたしましたとおり、Cullgenはアステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）と革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及び独占的オプション契約を締結いたしました。本戦略的提携におけるアステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。また、Cullgenは、同社初のTRK分解剤を使用した抗がん剤候補の臨床試験を中国にて進め、2023年7月に開示いたしましたとおり、ヒトにおける最初の臨床試験となる第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験を開始しております。同時に、他の複数のプログラムについても、臨床試験申請を目指して開発を進めております。

医療機器事業に関しましても、米国で生体材料事業に携わるBerkeley Advanced Biomaterials LLC（以下「BAB」）を筆頭に、業績は堅調に推移しております。当社グループはこの生体材料事業を更に発展させるべく、2023年9月19日に開示いたしましたとおり、米国においてバイオロジクスの開発と商品化を行うElutia Inc.（ナスダック上場、証券コード：ELUT、以下「Elutia」）から、デューデリジェンスが成功裏に完了することを条件に、オーソバイオロジクス事業の一部を譲り受けること、及びその受け皿となる当社グループ100%出資子会社を米国に設立することを決議し、デューデリジェンスを進めております。また、2023年8月1日に開示いたしましたとおり、今後の中国市場における医療機器事業の収益拡大を目指し、当社グループ会社であるBABの既存ディストリビューターであり、輸入医療機器と消耗品の販売に特化した専門的な医療流通企業であるShanghai JIUCE Medical Device Technology Co., Ltd.を持分法適用会社化しております。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

北京コンチネントの主力製品であるアイスーリュイの中国市場での売上収益は堅調に推移しました。また、Cullgenとアステラス製薬との戦略的提携による契約一時金による売上収益4,838,400千円を計上しました。

その結果、医薬品事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、それぞれ18,272,865千円（前年同期比65.4%増）、5,915,025千円（前年同期比643.5%増）となりました。

医療機器事業

医療機器事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、BABの主力製品である骨移植関連製品の売上収益が引き続き好調に推移したことにより、それぞれ2,275,030千円（前年同期比32.7%増）、887,511千円（前年同期比27.0%増）となりました。

②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△7,498,561	△9,556,455	△2,057,894
人件費	△2,733,706	△3,131,738	△398,033
研究開発費	△1,819,132	△1,776,530	42,601

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、9,556,455千円（前年同期比27.4%増）となりました。この販売費及び一般管理費の増加は、主に医薬品事業セグメントの人件費及び営業体制の構築費用やマーケティング活動関連費用の増加によるものです。

当第3四半期連結累計期間の研究開発費は、1,776,530千円（前年同期比2.3%減）となりました。この研究開発費の減少は、主に北京コンチネントにおけるF351の研究開発費の資産計上の増加によるものです。

③金融収益及び金融費用

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
金融収益	347,752	505,384	157,632
金融費用	△618,870	△904,311	△285,441

金融収益

当第3四半期連結累計期間の金融収益は、505,384千円（前年同期比45.3%増）となりました。この金融収益の増加は、主に受取利息と為替差益の増加によるものです。

金融費用

当第3四半期連結累計期間の金融費用は、904,311千円（前年同期比46.1%増）となりました。この金融費用の増加は、主にCullgenの資金調達に関する現金支出を伴わない利息費用の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	差額
資産合計	33,906,981	48,468,006	14,561,025
負債合計	14,096,013	21,881,395	7,785,382
資本合計	19,810,968	26,586,611	6,775,642

資産合計

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、48,468,006千円（前連結会計年度末比42.9%増）となりました。この資産の増加は、主にCullgenの営業債権及び資金調達による現金及び現金同等物の増加によるものです。

負債合計

当第3四半期連結会計期間における負債合計は、21,881,395千円（前連結会計年度末比55.2%増）となりました。この負債の増加は、主にCullgenの資金調達及びそれに関する現金支出を伴わない利息費用の追加計上によるものです。

資本合計

当第3四半期連結会計期間における資本合計は、26,586,611千円（前連結会計年度末比34.2%増）となりました。主に利益剰余金の増加によるものです。

連結キャッシュ・フロー

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△162,928	4,442,988	4,605,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,909,505	△3,697,727	△788,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299,280	4,981,492	5,280,772

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、4,442,988千円の収入（前年同期は、162,928千円の支出）となりました。これは主に、税引前四半期利益6,376,072千円に対して、営業債権及びその他の債権の増加1,974,714千円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、3,697,727千円の支出（前年同期は、2,909,505千円の支出）となりました。主な支出は、中国における長期性預金の取得及び工場拡張に係る有形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、4,981,492千円の収入（前年同期は、299,280千円の支出）となりました。主な収入は、Cullgenの資金調達に伴う非支配持分からの払込によるものです。

(3) 研究開発活動

〔研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がん、痛み、及び自己免疫疾患に対する酵素及び非酵素タンパク質を標的とした複数の新規化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月15日に開示いたしましたとおり、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及び独占的オプション契約を締結いたしました。本戦略的提携において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬ケイパビリティを融合し、複数のタンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は共同研究を行い、アステラス製薬は開発及び商業化を担います。乳がんやその他の固形がんを対象として、アステラス製薬が同定したリードプログラムである細胞周期タンパク質に対する分解誘導剤候補化合物の米国におけるアステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕－北京コンチネント

糖尿病腎症（DKD）

アイスーリュイの適応を糖尿病腎症に拡大する臨床試験は、第I相を完了しておりますが、次フェーズ臨床試験の規制上の方向性を定めるため、クラス2会議（臨床試験に関する技術的な会議）の申請を中国のCDE（Center for Drug Evaluation、医薬品評価センター）に提出し、今後の進め方を協議しております。

結合組織疾患を伴う間質性肺疾患（SSc-ILD及びDM-ILD）

アイスーリュイの適応を全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD）の2つに拡大するため、第III相の臨床試験を継続しておりますが、現時点ではF351の臨床試験を優先しております。

じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）

アイスーリュイの適応をじん肺に拡大する臨床試験は、2022年6月から第III相に入っております。2022年末から2023年初頭の中国における新型コロナウイルス蔓延の影響が多少ありましたが、現時点では被験者の登録も再開しております。

■F351（肝線維症等治療薬）－ 北京コンチネント

F351（一般名：ヒドロニドン）は肝線維症向け治療薬候補として、北京コンチネントの医薬品ポートフォリオにおける重要な創薬候補化合物であり、他の世界の主要医薬品市場へ臨床開発活動を拡大する戦略の重要な部分を占めております。F351は、アイスーリュイの誘導体である新規化合物であり、内臓の線維化に重要な役割を果たす肝星細胞の増殖及び、TGF- β 伝達経路を阻害します。

F351は、中国のCDEとの協議を経て、2021年3月にNMPAより肝線維症の画期的治療薬の指定を受けました。これにより、F351についてのCDEとの協議が優先的、かつその協議結果を生かした臨床試験を進めることが可能となり、2021年7月29日には中国における第Ⅲ相臨床試験の許可申請が承認されました。2022年1月に開始した当該試験は、2023年内の被験者登録完了を目前に控え、順調に進捗しております。

なお、F351の権利は、中国においては北京コンチネントが保持しておりますが、日本、豪州、カナダ、米国及び欧州各国を含む中国以外におけるF351の権利は、CBIOに譲渡しております（この取引の詳細については、2022年12月27日の適時開示と2022年12月30日及び2023年1月18日開示のQ&Aをご参照ください）。

CBIOは、米国で代謝障害関連脂肪肝炎（MASH: Metabolic Dysfunction Associated Steatohepatitis）*の治療薬として第Ⅱ相臨床試験開始申請（IND）を行う予定です。現在、MASHの治療薬として日米欧で承認された製品はありません。

*:MASHは以前NASH（非アルコール性脂肪肝炎）と呼ばれていた疾患の病名が変更されたものです。上記日本語訳は仮称です。

■F573（急性肝不全（ALF）・慢性肝不全の急性増悪（ACLF）治療薬）－ 北京コンチネント

F573はアイスーリュイ及びF351に次ぐ3番目の創薬候補化合物として、カスパーゼを阻害する可能性を持つ強いジペプチド化合物であり、急性肝不全（ALF）や慢性肝不全の急性増悪（ACLF）に関連して発生するアポトーシスや炎症反応に重要な化合物です。

2023年3月に最初の被験者を登録した第Ⅱ相臨床試験は、順調に進捗しております。

■CG001419（TRK分解剤）－ Cullgen

2022年8月9日に「連結子会社CullgenのTRK分解剤に関するIND申請承認のお知らせ」で開示いたしましたとおり、Cullgenは中国のNMPAから固形がん治療用途でのトロポミオシン受容体キナーゼ（TRK）分解剤開発候補化合物であるCG001419のIND承認を取得いたしました。CG001419は、非小細胞肺癌や乳がん、膵臓がん等を含む多くの固形がんで見出される神経栄養性チロシン受容体キナーゼ（NTRK）融合遺伝子にコードされるTRKタンパク質異常の進行がんの治療に使用が期待される、ファースト・イン・クラスの選択的かつ経口剤となり得る標的タンパク質分解誘導作用を持つ開発候補化合物です。

2022年末から2023年初頭にかけての中国における新型コロナウイルス流行を受け、臨床試験の開始が想定より遅れておりましたが、2023年7月に開示いたしましたとおり、ヒトにおける最初の臨床試験となる第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験を中国にて開始いたしました。また、米国FDA（食品医薬品局）との米国での臨床試験前の協議は継続しております。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月6日の「2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	3,951,217	4,973,336
使用権資産	755,167	723,570
のれん	6,047,721	6,774,046
無形資産	2,928,800	3,863,731
持分法で会計処理されている投資	622,476	755,823
繰延税金資産	184,171	230,528
その他の金融資産	2,270,162	4,445,657
非流動資産合計	16,759,717	21,766,695
流動資産		
棚卸資産	1,693,412	1,573,751
営業債権及びその他の債権	3,122,463	5,410,007
その他の金融資産	196,543	63,740
その他の流動資産	1,085,535	1,511,210
現金及び現金同等物	11,049,310	18,142,601
流動資産合計	17,147,264	26,701,311
資産合計	33,906,981	48,468,006
負債及び資本		
非流動負債		
リース負債	157,744	83,808
繰延税金負債	546,790	724,731
その他の金融負債	9,706,958	15,908,122
その他の非流動負債	181,027	178,357
非流動負債合計	10,592,520	16,895,018
流動負債		
営業債務及びその他の債務	949,612	759,871
借入金	200,000	1,300,000
リース負債	179,611	186,962
未払法人所得税	1,179,254	1,543,898
その他の金融負債	7,225	7,069
その他の流動負債	987,788	1,188,574
流動負債合計	3,503,492	4,986,377
負債合計	14,096,013	21,881,395
資本		
資本金	10,893,070	10,912,241
資本剰余金	6,233,386	5,500,673
自己株式	△756	△10,147
利益剰余金	696,360	2,909,635
その他の資本の構成要素	3,147,631	4,907,710
親会社の所有者に帰属する持分合計	20,969,692	24,220,114
非支配持分	△1,158,724	2,366,497
資本合計	19,810,968	26,586,611
資本及び負債の合計	33,906,981	48,468,006

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	12,761,031	20,547,895
売上原価	△1,907,239	△2,369,420
売上総利益	10,853,792	18,178,475
販売費及び一般管理費	△7,498,561	△9,556,455
研究開発費	△1,819,132	△1,776,530
その他の収益	82,623	358,417
その他の費用	△124,524	△401,369
営業利益	1,494,197	6,802,536
金融収益	347,752	505,384
金融費用	△618,870	△904,311
持分法による投資損失	—	△27,537
税引前四半期利益	1,223,079	6,376,072
法人所得税費用	△898,662	△1,571,575
四半期利益	324,416	4,804,496
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,076,065	2,213,274
非支配持分	△751,649	2,591,222
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	22.67	46.61
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	22.46	46.13

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	324,416	4,804,496
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,210,663	1,843,782
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	—	13,025
その他の包括利益合計	2,210,663	1,856,807
四半期包括利益合計	2,535,079	6,661,304
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,833,451	3,907,869
非支配持分	△1,298,371	2,753,434

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2022年1月1日残高	10,884,332	6,224,649	△645	307,535	543,445	900,992	1,444,437
四半期利益	—	—	—	1,076,065	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	2,757,385	2,757,385
四半期包括利益合計	—	—	—	1,076,065	—	2,757,385	2,757,385
新株の発行	6,858	6,858	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	200,651	—	200,651
株式発行費用	—	△26	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	6,858	6,832	—	—	200,651	—	200,651
2022年9月30日残高	10,891,191	6,231,481	△645	1,383,600	744,097	3,658,377	4,402,474

	親会社の所有者に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2022年1月1日残高	18,860,309	405,936	19,266,246
四半期利益	1,076,065	△751,649	324,416
その他の包括利益	2,757,385	△546,722	2,210,663
四半期包括利益合計	3,833,451	△1,298,371	2,535,079
新株の発行	13,717	—	13,717
株式報酬取引	200,651	—	200,651
株式発行費用	△26	—	△26
所有者との取引額合計	214,342	—	214,342
2022年9月30日残高	22,908,103	△892,434	22,015,668

当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2023年1月1日残高	10,893,070	6,233,386	△756	696,360	824,192	2,323,439	3,147,631
四半期利益	—	—	—	2,213,274	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	1,694,595	1,694,595
四半期包括利益合計	—	—	—	2,213,274	—	1,694,595	1,694,595
支配継続子会社に対する持 分変動	—	△751,883	—	—	—	△19,903	△19,903
新株の発行	19,171	19,171	—	—	△176	—	△176
新株予約権の発行	—	—	—	—	5,127	—	5,127
株式報酬取引	—	—	—	—	106,374	—	106,374
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△4,213	—	△4,213
新株予約権の失効	—	—	—	—	△21,725	—	△21,725
自己株式の取得	—	—	△9,390	—	—	—	—
所有者との取引額合計	19,171	△732,712	△9,390	—	85,386	△19,903	65,483
2023年9月30日残高	10,912,241	5,500,673	△10,147	2,909,635	909,579	3,998,131	4,907,710

	親会社の所有者に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2023年1月1日残高	20,969,692	△1,158,724	19,810,968
四半期利益	2,213,274	2,591,222	4,804,496
その他の包括利益	1,694,595	162,211	1,856,807
四半期包括利益合計	3,907,869	2,753,434	6,661,304
支配継続子会社に対する持 分変動	△771,786	771,786	—
新株の発行	38,165	—	38,165
新株予約権の発行	5,127	—	5,127
株式報酬取引	106,374	—	106,374
新株予約権発行費用	△4,213	—	△4,213
新株予約権の失効	△21,725	—	△21,725
自己株式の取得	△9,390	—	△9,390
所有者との取引額合計	△657,448	771,786	114,338
2023年9月30日残高	24,220,114	2,366,497	26,586,611

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,223,079	6,376,072
減価償却費	388,148	423,733
営業債権及びその他の債権の増減額	△940,488	△1,974,714
営業債務及びその他の債務の増減額	122,325	△256,652
棚卸資産の増減額	△117,673	260,964
賞与引当金増減額	11,549	26,495
金融収益及び金融費用	540,127	675,928
その他	△392,645	△18,663
小計	834,423	5,513,164
利息の受取額	40,229	126,827
利息の支払額	△9,568	△16,992
法人所得税の支払額	△1,028,013	△1,180,010
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△162,928	4,442,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	△1,159,200	△1,765,800
有形固定資産の取得による支出	△723,140	△1,041,104
有形固定資産の売却による収入	—	1,927
無形資産の取得による支出	△441,652	△694,565
投資有価証券の取得による支出	△589,252	△139,128
差入保証金・敷金の増加による支出	△266	△3,753
差入保証金・敷金の減少による収入	449	—
貸付けによる支出	—	△58,860
貸付金の回収による収入	3,557	3,557
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△2,909,505	△3,697,727
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	△200,000	1,100,000
非支配持分からの払込による収入	—	4,008,959
新株予約権の行使による収入	—	27,504
新株予約権の発行による収入	—	357
リース負債の返済による支出	△98,520	△152,451
自己株式の取得による支出	—	△38
その他	△760	△2,838
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△299,280	4,981,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,741,793	1,366,537
現金及び現金同等物の増減額	△1,629,920	7,093,291
現金及び現金同等物の期首残高	14,352,133	11,049,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,722,213	18,142,601

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しております。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2022年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究などを行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai), Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC、マイクレン・ヘルスケア株式会社	生体材料、医療機器選任製造販売業者(DMAH)及び治験国内管理人 (ICC) サービス

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	11,046,069	1,714,961	12,761,031	—	12,761,031
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	37,620	37,620	△37,620	—
計	11,046,069	1,752,582	12,798,651	△37,620	12,761,031
セグメント利益	795,584	698,613	1,494,197	—	1,494,197
				金融収益	347,752
				金融費用	△618,870
				税引前四半期利益	1,223,079

(注) 1. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	18,272,865	2,275,030	20,547,895	—	20,547,895
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	23,754	23,754	△23,754	—
計	18,272,865	2,298,784	20,571,650	△23,754	20,547,895
セグメント利益	5,915,025	887,511	6,802,536	—	6,802,536
				金融収益	505,384
				金融費用	△904,311
				持分法による投資損失	△27,537
				税引前四半期利益	6,376,072

(注) 1. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

（重要な後発事象）

（取得による企業結合）

当社は、2022年12月27日に開催の取締役会において、CBIO（現 Gyre Therapeutics, Inc. 以下「Gyre」）との間で、当社グループが保有する北京コンチネント株式をCBIO（現 Gyre）に現物出資し、その対価としてCBIO（現 Gyre）の株式を当社グループが受領する取引に関する企業結合契約を締結することを決議し、同日付で企業結合契約を締結いたしました。同契約に基づき当該取引は2023年10月31日に完了いたしました。

(1) 本取引の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Catalyst Biosciences, Inc.（現 Gyre Therapeutics, Inc.）

事業の内容 バイオ医薬品の研究・開発

② 企業結合の主な理由

当社グループは、これまで日・米・中の3か国にまたがる事業体制を推進してまいりました。特に、その柱の一つである医薬品事業においては、中国における効率の良い研究開発、製造販売体制を築き上げ、そこでの成果を世界の他地域に展開する戦略を推進してまいりましたが、本取引により、当社グループは、米国での臨床開発を、CBIO（現 Gyre）を通じて加速することが出来ます。

③ 取得日

2023年10月31日

④ 被取得企業の支配獲得方法

現物出資による株式取得及び優先株式の普通株式への転換

(2) 取得対価

現時点では算定中であります。

(3) のれん、取得資産及び引受負債の額

現時点では確定しておりません。

（事業の譲受）

当社は、2023年9月17日開催の取締役会において、当社の連結子会社Berkeley Advanced Biomaterials Inc.の子会社Berkeley Biologics LLC（以下「BB」）が、Elutiaとの間で事業譲受に関する契約を締結することを決議し、同日付で事業譲受に関する契約を締結いたしました。さらに、同契約に基づき2023年11月9日に事業譲受が完了いたしました。

（注） BBは、上記事業譲受のために新設した会社です。

（1）事業譲受の概要

① 譲受企業の名称及びその事業の内容

譲受企業の名称 Elutia Inc.

事業の内容 オートバイオロジクス製品の開発・商品化

② 事業譲受の理由

当社グループは、「患者の皆様になんか新たな希望を」をミッションに、医薬品事業及び医療機器（生体材料）事業を2つの柱として、日・米・中において事業を展開して参りました。その中で、生体材料事業は、当社の連結子会社であるBABが、米国を中心に事業を展開して参りました。今般、この生体材料事業を更に発展させるべく、Elutiaのオートバイオロジクス事業の一部を譲り受けることにいたしました。

③ 事業譲受日

2023年11月9日

④ 事業譲受の法的形式

現金を対価とする事業譲受

（2）取得対価

現金 1,500万米ドル

なお、上記に加えて、Elutiaとの間で条件付対価に関する合意がされています。今後5年にわたり、更に最大2,000万米ドルの条件付対価を、業績達成度合いに応じてElutiaに現金で支払いますが、条件付対価の事業譲受日の公正価値は、現時点では確定していません。

（3）のれん、取得資産及び引受負債の額

現時点では確定していません。